



やなぎ
柳

あつし
敦

職 名 教授

担当科目 都市の歴史 I

研究テーマ 19, 20 世紀のフランス経済史
とくに、葡萄栽培及び葡萄酒流通の歴史をテーマとしている。

研究業績

著 書

1994年9月 『概説 西洋社会史』(共著, 有斐閣)
1997年2月 『フランスの戦間期経済史』(共訳, 早稲田大学出版部)
2000年2月 『大学の社会経済史』(共著, 創文社)
2005年2月 『外国経営史の基礎知識』(共著, 有斐閣)

論 文

1988年10月 “La commercialisation du vin de l’Hérault au XIXe siècle”(DEA修得論文)
1992年4月 19世紀フランスにおける葡萄酒産地問屋のマーケティング活動—ラングドック産葡萄酒の全国進出— (『経営史学27巻1号』)

略 歴

1989年3月 早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程修了
1986年9月 モンペリエ第三大学博士課程留学
桐朋学園大学・成蹊大学・浦和短期大学非常勤講師, 追手門学院大学経済学部専任講師を経て,
1999年4月～ 那須大学都市経済学部教授
2006年4月 宇都宮共和大学シティライフ学部教授 (大学名称等変更) (～現在に至る)

所属学会

社会経済史学会, 経営史学会, 日仏経済学会, 日仏歴史学会

自己アピール

初心を忘れず, 同時に新たな気持ちで好奇心を刺激しつつ, 教育・研究を進めていきたいと思っています。
フランスが専門なので, 講義などを通じて, 本当のフランスの姿を伝えられればと願っています。
